

ポピンQ
POP IN Q

PERO'S ステーション



第79期 第2四半期のご報告

(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

東映アニメーション株式会社

株主の皆様へ

皆様から選ばれる
アニメーション制作会社で
あり続けるための
変革と投資を積極的に
推進してまいります。

代表取締役社長
高木 勝裕

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度(第79期)
連結業績予想
(平成28年10月24日発表)

(百万円)

売上高 35,400

営業利益 7,700

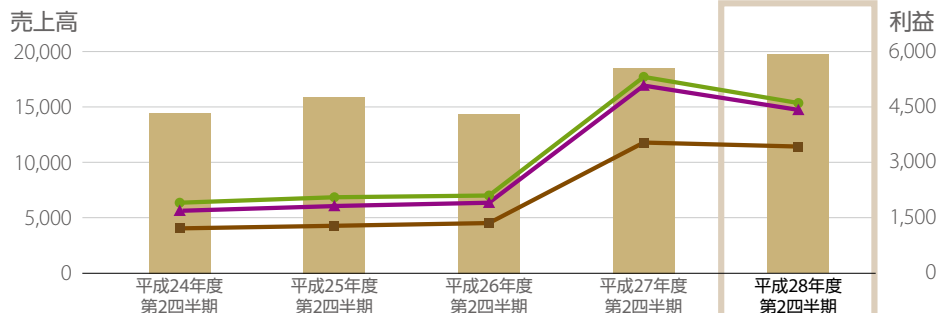
経常利益 8,100

当期純利益 5,800

※売上、利益ともに過去最高を見込む

第2四半期実績推移(連結)

(百万円)



売上高	14,467	15,920	14,373	18,519	19,774
営業利益	1,694	1,822	1,911	5,085	4,426
経常利益	1,911	2,059	2,106	5,320	4,612
純利益	1,216	1,286	1,360	3,541	3,433

■ 上期としては、売上高で過去最高

当第2四半期におきましては、国内外で「ドラゴンボール」「ワンピース」のアプリゲームや「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたタイアップ・販促関連商品の販売が好調に稼動したことから、売上高は過去最高を達成しました。

下期以降の展開としては、従来の主力作品「ワンピース」「ドラゴンボール超」「魔法つかいプリキュア!」に加え、オリジナル作品を新たな収益の柱とすべく、平成28年10月より放映中のテレビアニメ「デジモンユニバース アプリモンスターズ」、12月23日公開予定の映画「ポッピンQ」の展開強化を図ってまいります。

■ 業界・視聴者の皆様から選ばれる アニメーション制作会社で あり続けるための変革と投資

平成28年7月に別々だった企画、製作部門を統合し、新たに「企画製作本部」を新設しました。企画部門と製作部門の連携を密にすることで、製作スケジュールの改善や作品クオリティの更なる向上を目指します。また、働きやすい製作環境の整備を目的とした新大泉スタジオの建て替え工事も、平成29年年夏竣工に向けて順調に進んでおります。更に、製作現場で働く人達の雇用条件改善のための契約社員制度の導入や製作プロセスの管理高度化を目指した製作進捗管理システムの刷新、将来のヒット作の種となるパイロット映像製作にも取り組んでおります。

今後も業界・視聴者から選ばれるスタジオであり続けるための変革と投資を積極的に推進してまいります。

■ 創立60周年を迎えて

当社は平成28年7月31日に創立60周年を迎えました。このような節目の年を迎えることが出来たのも、ひとえに永きにわたる株主の皆様のご支援とご愛顧の賜物です。深い感謝とともに、厚く御礼申し上げます。この節目の年に、今後会社が目指すべき姿を表すものとして、60周年記念ロゴを製作しました。フィルムからデジタルに時代が変わっても、輝き続けるアニメーション制作会社でありたいという思いと、グローバルで活躍していくとの意思を表現しました。

先人たちが築いた60年の歴史と伝統に敬意を表しつつ、『世界の子どもたちと人々に「夢」と「希望」を与える』という使命をもって、当社のさらなる成長・発展のために従業員一丸となり、新しい歴史を作ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年11月

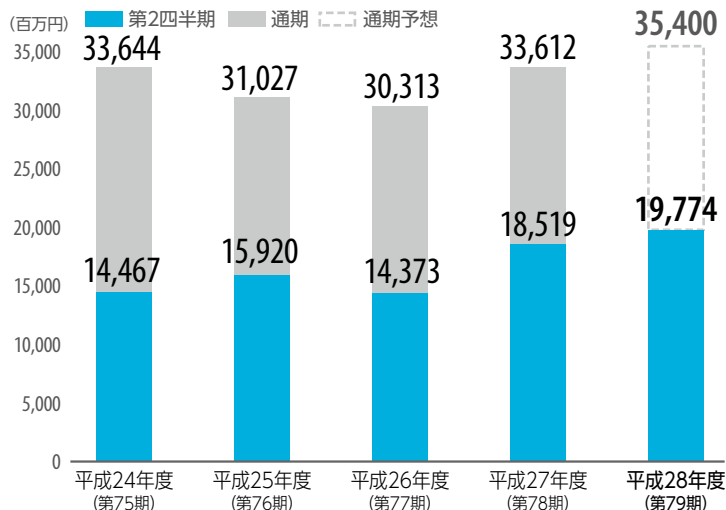
代表取締役社長 高木 勝裕

決算のご報告

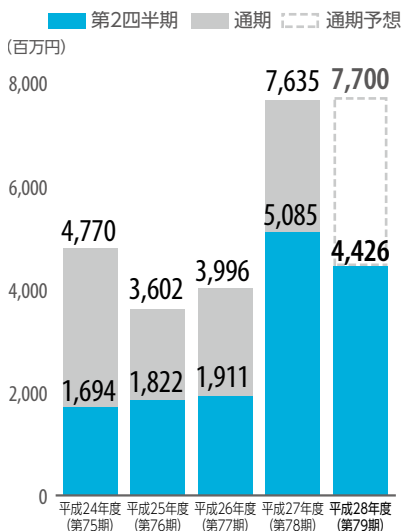
平成28年4月1日～9月30日(第79期第2四半期)

当第2四半期は、国内外でアプリゲーム向けライセンス販売が好調に推移したことや、「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開運動のタイアップ・販促関連販売が好調だったことにより、増収となり、第2四半期としての歴代最高の売上高を達成しました。一方、各利益については、収益性の高い中国向け大口映像配信権の売上の一部が下期にずれ込んだことにより、いずれも減益となりました。

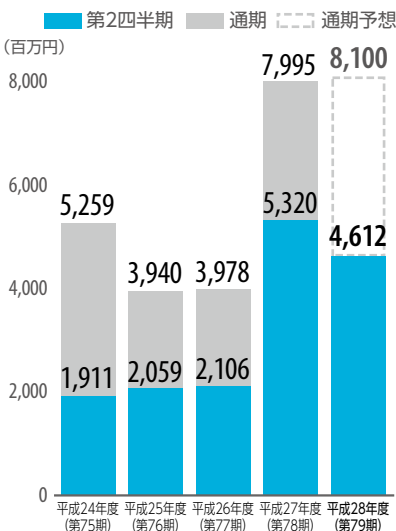
連結売上高



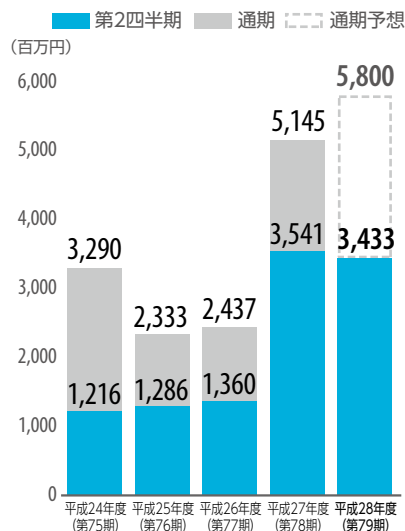
連結営業利益



連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



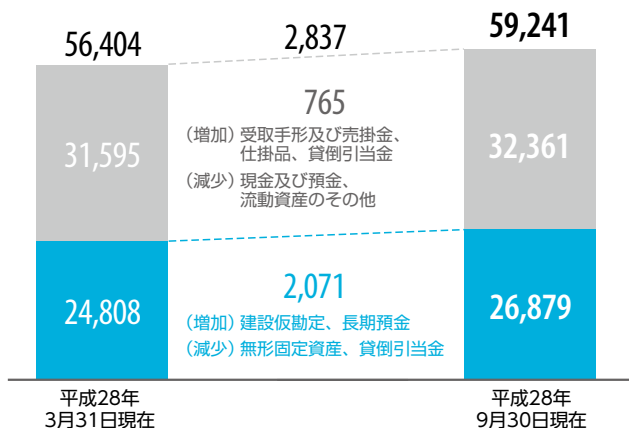
四半期連結貸借対照表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

(百万円)

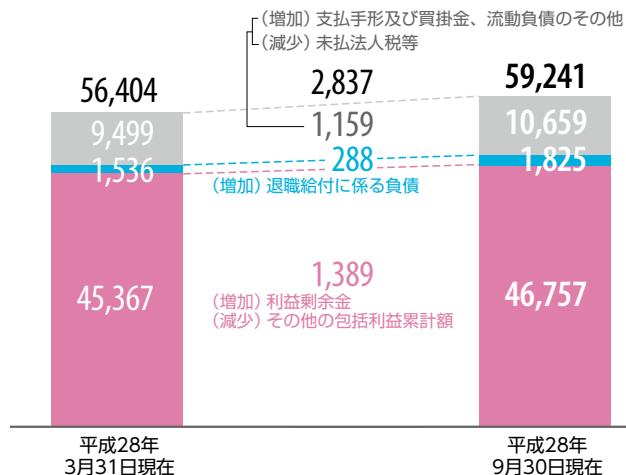
■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産の部

(百万円)

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



POINT

引き続き安定した財政状態を維持しております。総資産は前期末より5.0%増加し592億41百万円、純資産は3.1%増加し467億57百万円、自己資本比率は78.9%と高い水準となっています。

詳細な財務情報のご案内

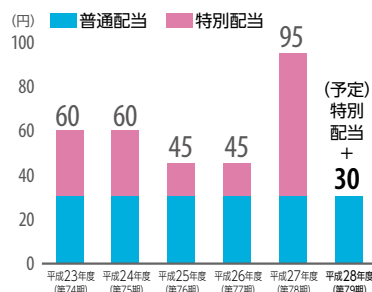
【IR情報】

当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。

<http://corp.toei-anim.co.jp/ir/>

配当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績等を総合的に勘案して、配当を決定しております。1株当たり年間30円をベースに、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本としております。



過去の特別配当

第74期～第75期

← 過去最高の売上高を更新したこと等を踏まえて

第76期～第78期

← 好業績等を勘案して

※第78期は記念配当含む

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメ等を企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、インターネット、携帯端末等、さまざまなメディアで展開しています。

売上構成比

36%

売上高

71億54百万円

前年同期比
9.1%

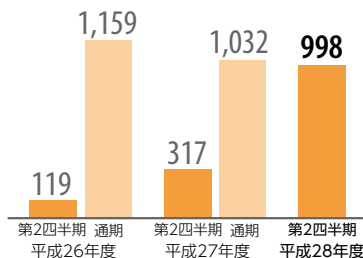


【劇場アニメ部門】

売上高

9億98百万円

売上高推移 (百万円)



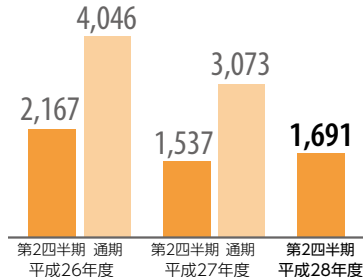
3月に「デジモンアドベンチャーtri.(トライ) 第2章「決意」」、「映画プリキュアオールスターズ みんなで歌う♪奇跡の魔法」、7月に「ONE PIECE FILM GOLD」、9月に「デジモンアドベンチャーtri.(トライ) 第3章「告白」」を公開しました。「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットにより、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

【テレビアニメ部門】

売上高

16億91百万円

売上高推移 (百万円)



「ワンピース」、「魔法つかいプリキュア!」、「ドラゴンボール超」、「セーラームーンCrystal」の4作品を放映・配信しました。前年同期に比べ放映本数は減ったものの、ゲーム向け音声製作が好調に稼動したこと等から、大幅な増収となりました。

Major Lineup

＜劇場アニメ＞



【ONE PIECE FILM GOLD】

平成28年
7月23日公開



「デジモンアドベンチャーtri.(トライ) 第3章「告白」

平成28年
9月24日劇場上映

＜新作テレビアニメ＞



「デジモンユニバース アプリモンスターズ」

平成28年
10月1日～



「タイガーマスクW」

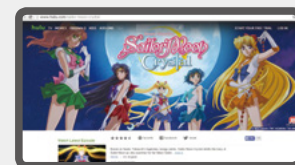
平成28年
10月1日～

Major Lineup

ブルーレイ
「デジモンアドベンチャーtri. (トライ) 第2章「決意」」



ブルーレイ
「プリキュアオールスターズ みんなで歌う♪奇跡の魔法!」

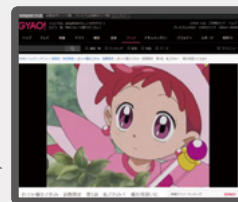


hulu
北米動画配信サイト
「hulu」

中国向け劇場上映用
ポスター
「ドラゴンボールZ 復活の「F」」



ブラウザゲーム
「聖闘士星矢 ビッグバンコスモ」



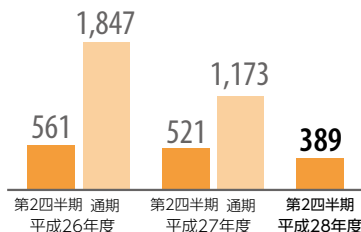
映像配信サイト
「GYAO!」

「コンテンツ部門」

売上高 **3億89** 百万円

映像パッケージの関連収入はほぼ横ばいで推移しましたが、ゲーム向け音声製作をテレビアニメ部門に組みかえたこと等から、大幅な減収となりました。

売上高推移 (百万円)

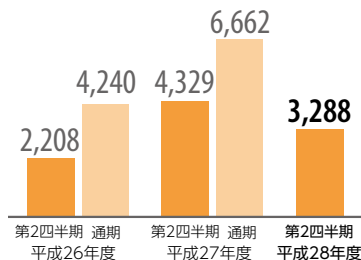


「海外映像部門」

売上高 **32億88** 百万円

「ドラゴンボール」シリーズの番組販売権や中南米向けの「ドラゴンボールZ 復活の「F」」の劇場上映権の販売が好調に稼動しましたが、前年同期にあった複数作品の中国向け大口映像配信権の売上計上が下期に一部ずれ込んだことから、大幅な減収となりました。

売上高推移 (百万円)

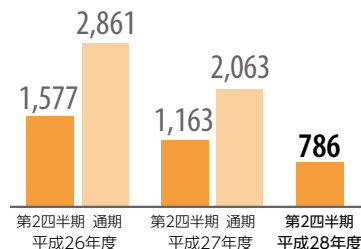


「その他部門」

売上高 **7億86** 百万円

定額映像配信市場の拡大もあり、映像配信サービスは好調に稼動しましたが、ソーシャルゲーム『聖闘士星矢ギャラクシーカードバトル』のサービス終了の影響が大きく、全体としては大幅な減収となりました。

売上高推移 (百万円)



事業セグメントの状況

著作権事業

テレビ放映や劇場公開等と連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品等の商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。

売上高

85億34百万円

前年同期比
13.4%

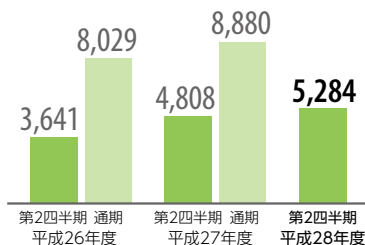
売上構成比
43%

「国内著作権部門」

売上高 **52億84**百万円

アプリゲーム『ドラゴンボールZドッカンバトル』や『ワンピース』の商品化権の販売が好調に推移したことから、前年同期と比較して増収となりました。

売上高推移 (百万円)

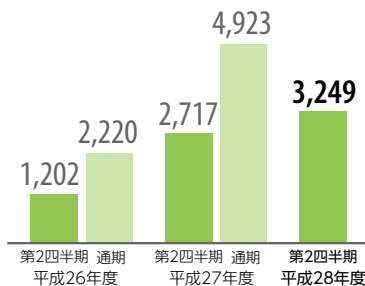


「海外著作権部門」

売上高 **32億49**百万円

全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZドッカンバトル』や『ワンピーストレジャークルーズ』、中国でゲーム化権の販売や「聖闘士星矢」のアプリゲームが好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

売上高推移 (百万円)



Major Lineup



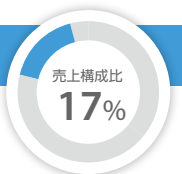
「美少女戦士セーラームーン」シリーズ、
「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
国内展開商品



「美少女戦士セーラームーン」シリーズ、「聖闘士星矢」、
「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
海外展開商品

商品販売事業

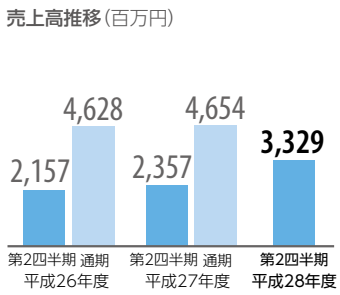
著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。またイベントや店舗での直接販売もしています。



売上高 **33億29** 百万円



「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたティアアップ・販促関連商品の販売が好調だったことに加え、海外のイベント物販も好調に推移したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。



Major Lineup

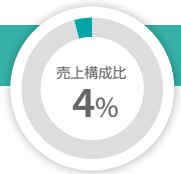


「ONE PIECE FILM GOLD」
ティアアップ商品



その他事業

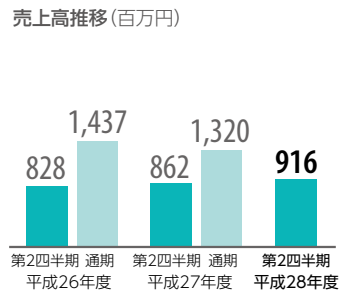
催事やキャラクターショー、ミュージカル等のイベントの企画・運営を行っています。



売上高 **9億16** 百万円



催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「聖闘士星矢」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズの催事関連が好調に稼働したことから、増収となりました。



Major Lineup



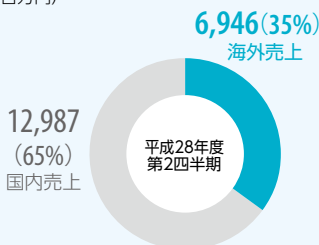
「聖闘士星矢 30周年展」



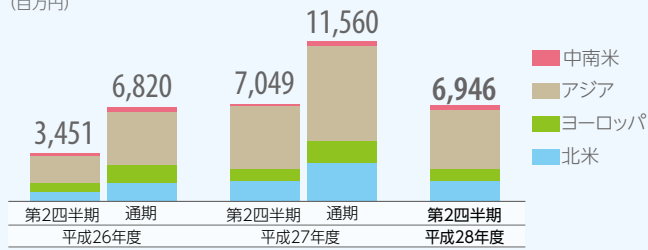
「DRAGONBALL Z THE REAL 4-D」
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®

国内・海外売上高構成比
(百万円)

海外での 事業展開



海外地域別売上高推移
(百万円)



※セグメント間取引額を含んでおります。

ポッピンQ POP IN Q



平成28年12月23日全国劇場公開予定

中学3年生の春、悩みを抱えた少女たちが、奇跡の出会いを体験する。住んでいる地域も、家庭環境も違う5人。出会うはずのなかった彼女たちが、出会い、そしてぶつかりあう。それは同時に、それまで目をそらしていた自分の心と向かい合い、成長することを意味していた。

東映アニメーションが創立60年に贈る最高の青春応援ストーリー「ポッピンQ」は、12月23日全国劇場公開します。

企画・
プロデュース
松井 俊之

2013年 テレビ朝日を経て入社。
実写映画・テレビシリーズ・Vシネマ等を多数プロデュース。
現在は、企画製作本部 映像企画部長。
東映アニメ関連作品「Re:キューティーハニー」
「聖闘士星矢Ω」シリーズほか

プロデューサーインタビュー

Q ポッピンQの企画立ち上げの経緯を教えてください。

高木社長が就任した時、社内で中期的な経営の取り組みを考えるプロジェクトがあり、そこでオリジナル作品の製作により新たなビジネス展開を開拓することが提案されました。また、社内監督の積極的起用と若手プロデューサーの育成も狙いとし、「ポッピンQ」の構想が始まりました。

Q 今作の見所は。

あらゆる世代に訴えかけるエンターテインメントであり、観客とともに成長していく作品であるという点です。今作は思春期の女の子が抱える心の壁という、幅広い世代が共感・応援できるテーマとなっています。また、劇中のサイドストーリーや各キャラクターのスピノフをコミカライズやノベライズすることにより、見た人が作品の世界観を想像し補完することで、奥行きを作り出しています。また、3DCGを駆使したダンスシーンや、数々のヒット作を担当した黒星紅白氏によるキャラクターも見所です。

Q オリジナル作品かつ映画が初出ということで難しい点がありますか。

やはり初期コスト面が一番難しい問題となってきます。映画が初出ということから、息の長い作品にしていけるためには高いクオリティと宣伝が非常に重要となります。その部分ではどうしても費用がかかってきます。この問題を解決するために、今作では単純に興行収入だけで収支を見るのではなく、配信や書籍化、海外展開等のマルチウィンドウをはじめ、シリーズ化も視野に入れた展開を考えています。

Q 株主の皆様にご挨拶をお願いします。

東映アニメーションとして新たなチャレンジをした作品となっています。当社60周年記念作として、作品の内容もちろんですが、幅広いビジネス展開にもご期待ください。



テレビ東京系
6局ネットにて **毎週土曜あさ7時放映中**

BSジャパンにて **毎週水曜夕方5時放映中**

永きにわたり愛され続けてきた「デジモン」シリーズ。その系譜を継ぐ新しい物語「デジモンユニバース アプリモンスターズ」が10月からテレビ東京系にて放映開始となりました。

プロデューサー
永富 大地

2002年入社。
2009年に東映(株)ツークン研究所に外向。
実写映画・テレビのCG・VFX制作に参加。
現在は当社で映画・テレビのアニメ作品をプロデュース中。
代表作は「ワールドトリガー」ほか

プロデューサーインタビュー

Q 今回、新たなデジモンシリーズを製作するきっかけは何だったのでしょうか。

平成29年で「デジタルモンスター」の玩具が販売されて20年となります。その節目に向かって、「デジモンアドベンチャー」、「デジモンアドベンチャー02」のその後を描く「デジモンアドベンチャー tri.」が一足先に世に送り出されています。そして子どもが楽しんでくれるデジモンシリーズの新作を作ろうということでアップモン企画がスタートしました。ただ過去のシリーズのようにPCやインターネットが新しかった時代の「デジモン」をやるのではなく、現代の子どもたちにとって、身近になっているスマホのアプリがモンスターになるという設定で企画が立ち上がりました。

Q 今作の見どころは。

「とにかく新しいことにチャレンジする」ことを目標に企画しています。映像面では現実世界とネットとの重なりというものを非常に大事にしており、その世界を表現するために3DCGを活用して新しい映像表現に挑戦しています。またビジネス面では男子向け作品として(株)バンダイナムコホールディングスと企画段階から強力なタッグを組んでいて、アニメ、玩具、カード、ゲームとクロスメディア展開も注目すべき点かと思います。

Q 今後の展開について教えてください。

先ほどもお話したように(株)バンダイナムコホールディングスと一緒に様々な展開を企画しています。今作で重要な役割を担うアップモンチップというアイテムがあるのですが、このチップを起点にメイン玩具であるアプリドライブや12月1日発売の3DS向けゲーム等、幅広い商品展開を図っていきます。また今回、テーマがアプリということもあり、10月に番組情報を見れるアプリをリリースしました。アニメとMD、そして宣伝施策でシームレスに連動してまいります。今作が、男の子向けのオリジナル作品として当社の軸になるよう様々な挑戦をしていきます。ぜひ今後の展開にご期待ください。



平成28年度実施 株主さまアンケート結果のご報告

担当者より 7月に実施いたしました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,200名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、500名の皆様に「魔法つかいプリキュア!」文具セットと「ONE PIECE FILM GOLD」クリアファイルを送付させていただきました。

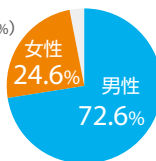
今回はアンケート結果のご報告として、皆様より頂戴しましたご意見の一部と担当者からのコメントをご紹介します。

アンケート回収の状況

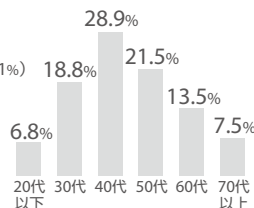
回答数 2,292名
株主数 5,835名※
※平成28年3月末時点
回収率 **39%**

ご回答者の属性

男女比
(無回答2.9%)



年代別
(無回答3.1%)



当社の株主優待(キャラクターQUOカード)について

コンビニでも使えるし、娘も好きなキャラクターで喜ぶから。
(40代女性)

プレミアム感到満足。しかし、使うのがもったいない…。
(30代女性)

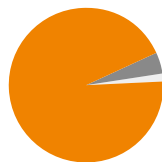
セーラームーンのQUOカードを入れてほしかった。(30代女性)

ドラゴンボールが良かった。30周年ですよ!(30代男性)

懐かしいキャラを充実させて!(50代男性)

懐かしいものから最新のものまで、思い出したり新たに知ったりできる。子どもへのお土産にもなるので続けて下さい。(60代男性)

満足している
94.2%



満足していない
4.5%
(無回答 1.4%)

古いアニメはあまり嬉しくない。(30代女性)

QUOカードが欲しくて、10年以上保有しています。満足しない理由がありません。(50代男性)

キャラクターカードには満足ですが、長期保有者への特典も考えてほしい。(40代男性)

娘がプリキュア大好きなのと、主人がワンピース好きなこと、私はサリーちゃん懐かしかったので!! (30代女性)

孫達がアニメのファンでオリジナルQUOカードをプレゼントする事が出来、祖父として少し鼻高になっています。(70代以上男性)

今回は特に嬉しかった。サリーちゃんとワンピース感激!(50代女性)

ワンピースが好きなので嬉しかったです。昔のアニメシリーズは、親との話題となり、楽しい時間が持てます。(20代女性)

実用的かつ会社事業を端的に示している。(40代男性)

担当者より

いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。また今回同封のアンケートにご回答いただいた方には、抽選で300名様にカレンダーをプレゼントいたします。ご応募お待ちしております。

■ 詳細はP13 ▶

皆様からのご意見・ご質問

Q1 創立60周年おめでとうございます。 記念企画楽しみです。(40代男性)

A ありがとうございます。社内公募で決定した記念ロゴはすでに当社の様々な劇場・TV作品で使用されており、60周年記念作品である「ポップンQ」も間もなく公開を迎えます(P9に特集記事)。また、動画サイトYouTubeに「東映アニメーション創立60周年公式チャンネル」を創設いたしました。当社が誇る名作の数々を期間限定・一部無料で配信しておりますので、この機会にぜひお楽しみください。



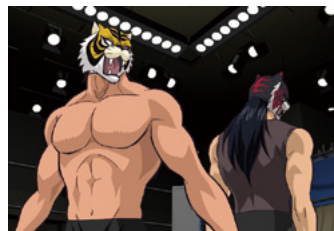
Q2 看板アニメに頼りすぎでは？(50代男性)

A 「ワンピース」、「ドラゴンボール」といった大人気作品が長い間当社の収益の柱となっていますが、その一方で新たなコンテンツの多面展開も行っており、今期も様々な試みが始まっています。10月には「デジモンユニバース アプリモンスターズ」のTV放映がスタートし、商品化等の二次利用展開がさらに広がる予定です。12月には長編オリジナルアニメーション「ポップンQ」の劇場公開も控えており、次の柱となる作品の育成に全社一丸となって取り組んでおります。



Q3 「タイガーマスク」がアニメ化されるなんて、びっくり。初代見てましたよ。(50代女性)

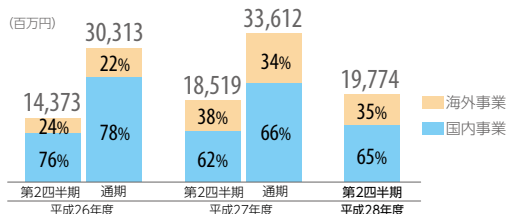
A 多くの方から、「タイガーマスクW」放映決定への反響をいただきました。初回は深夜2時45分という遅い時間からの放映にも関わらず、同時間帯トップとなる視聴率1.3%を記録し、好調なスタートを切っています。新日本プロレスとタッグを組み、往年の作品ファンやプロレスファンの心をガッチリ掴む本作の、今後の展開にご期待ください。



Q4 海外事業のトピックを 継続的に伝えていただきたい。(30代男性)

A 貴重なご意見ありがとうございます。海外の主要な売上については当冊子内「事業セグメントの状況」(P5-8)の中で写真を交えてご紹介しておりますが、現時点(平成28年度上期)で当社の海外売上比率は全体の35%を占めており、重要性が高まっています。株主の皆様はその時々的重要な情報をお伝えできるよう、特集ページ等を生かしてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

国内／海外別売上高構成比推移



株主優待のご案内

権利確定日：3月末日

株主優待オリジナルの キャラクター QUOカード を進呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

ご所有株式数	100株以上で	1セット	2,000円相当
	500株以上で	2セット	4,000円相当
	1,000株以上で	3セット	6,000円相当
	5,000株以上で	5セット	10,000円相当
	10,000株以上で	10セット	20,000円相当

1セット 2,000円相当

平成28年進呈のQUOカード



「ONE PIECE
FILM GOLD」

平成28年
7月23日公開



「魔法つかい
プリキュア!!」

毎週日曜日
朝8:30～
ABC・
テレビ朝日系列
にて放映中



「ながぐつ三銃士」

昭和47年3月18日公開作品



「魔法使いサリー」

昭和41年12月5日～昭和43年12月30日



アンケートご協力をお願い

株主の皆様とより良い関係を築き上げていくために、
本誌郵送時に同封のアンケートに
ご協力をお願いいたします。

ご回答いただきました方の中から抽選で
**300名様に「ワンピース」
2017年カレンダー**を進呈いたします。

年内発送に間に合わせるため応募期間が大変短くなって
おりますのでご注意ください。

当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

応募締切日

平成28年
12月9日(金)
当日消印有効

会社情報

(平成 28年9月30日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL: 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結:629名 単体:384名
上場市場	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	http://www.toei-anim.co.jp

株主メモ

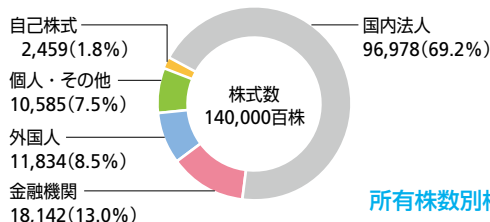
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告いたします。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式 質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務是三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://corp.toei-anim.co.jp

株式の状況

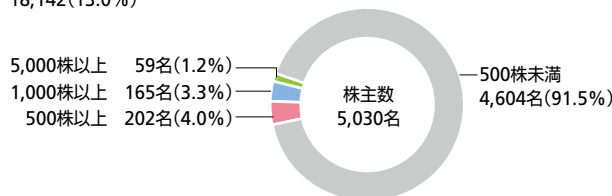
(平成 28年9月30日現在)

発行済み株式総数	14,000,000株
株主数	5,030名

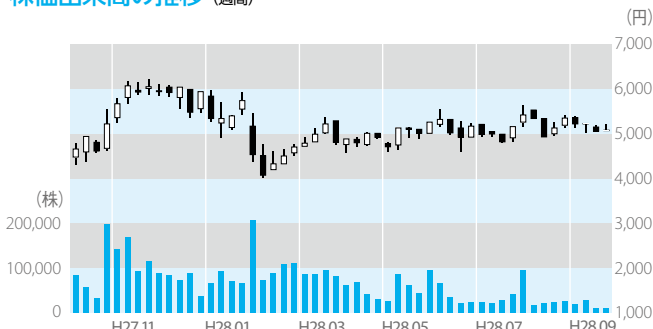
所有者別株式分布状況 (単位:百株)



所有株数別株主分布状況



株価出来高の推移 (週間)



お知らせ

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

注目の8作品



「デジモンユニバース アプリモンスターズ」

毎週土曜日 朝7:00～
テレビ東京系6局ネットにて放映中
毎週水曜日 夕方5:00～
BSジャパンにて放映中



「タイガーマスクW」

毎週土曜日 深夜2:45～
テレビ朝日ほかにて放映中



「魔法つかいプリキュア!」

毎週日曜日 朝8:30～
ABC・テレビ朝日系列にて放映中



「ポッピンQ」

平成28年12月23日公開予定



「ドラゴンボール超」

毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」

毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「正解するカド」

2017年 当社初のCGIによる
TVシリーズ放映予定



「デジモンアドベンチャー tri. (トライ)第4章『喪失』」

平成29年2月25日公開予定

©「ポッピンQ」Partners 2016・尾田栄一郎・2016「ワンピース」製作委員会・本郷あきよし・アップモンプロジェクト・テレビ東京・梶原一騎・辻なおき・講談社・テレビ朝日・2016映画プリキュアオールスターズSTMM製作委員会・「2015ドラゴンボールZ」製作委員会・ABC・車田正美・バードスタジオ・集英社・フジテレビ・BANDAI NAMCO Entertainment Inc.・武内直子・PNP・KINOSHITA GROUP・東映・光プロダクション・東映アニメーション
©developed by DeNA

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

